

- ① 恒さんが行く! 「先生、いつまでもお元気で」
- ② 例年以上に大盛況の全国表彰式が「小さな親切」運動に示唆してくれたこと  
平成27年度「小さな親切」運動全国表彰式
- ⑨ 震災から数年、コタローとポンタはどうなったかな?  
新作の紙芝居を制作中!
- ⑩ 「小さな親切」実行章は感謝のしるし
- ⑫ 心をつなぐ歴史あり
- ⑬ 田中義具前代表を偲んで
- ⑭ Information & HIROBA



「小さな親切」誌は、季刊発行 春号・5月、夏号・8月、秋号・10月、新春号・1月の予定です

平成 28 年 1 月 1 日発行 通巻 501 号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部  
〒101-0061  
東京都千代田区三崎町 2-20-4  
TEL. 03-3263-2866  
FAX. 03-3263-3838  
<http://www.kindness.jp/>

印刷所 広研印刷株式会社  
© 無断転載禁止  
落丁、乱丁はおとりかえいたします。

デザイン 有限会社リトルフット  
イラスト 清水 稔

恒さんが行く!



「先生、いつまでもお元気で」

代表 鈴木恒夫

**私**の小学校の母校は、横浜市港北区大倉山にある市立大綱小学校だ。卒業したのはなんと62年も前。同級生の大半は75歳の後期高齢者。私もこの2月にその仲間入りをする。その幼な友達のクラスと同窓会が昨年11月に開かれた。54人もいた仲間のうち、すでに亡くなった者も少なくないし、消息不明者も数多く、今回の出席者はついにたったの14人。なんとも寂しく、悲しい。

6年生のときの恩師は上野町さんという女の先生。宮城県うへのまちの師範学校出身で、地元で教壇に立ったのち、結婚してわが母校に着任。私たちがその「上野級」の第1期生だ。女傑といつていいほどの人柄で、教え方も厳しかったが、それ以上に礼儀作法にうるさかった。

何が先生のお怒りにふれたのか私には記憶がないが、「つねおクン!! 反省しなさい!!!」と叱られて、両手に水の入った重たいバケツを下げさせられて、廊下にさうとう長時間、立たされ続けた思い出がある。東北なまりのトーンで「つねおクン」と今でも私にお呼びかけくださる。こんな素晴らしい先生に子どものころ教えていただいたから、私はなんとか一人前になれたと、私はほんとうに感謝している。

**久**し振りに先生にお会いできると、ワクワクしながら会場に着くと、幹事が悲しそうな顔をして言った。「残念ながら、先生は今日のご欠席よ。タクシーでご自宅までお迎えに行ったんだけど、出席するつもりだったんだけど、ちょっと…とおっしゃってね」。集まった誰もが悲しい顔で報告を聞いたが、「でもね、頭もしっかりしているし、それほど

心配することはないようよ。とても92歳すぎとは思えないわよ。ご安心ください」と幹事。それぞれが安心したのか、宴が始まると、大いに昔のガキの頃の思い出話に花が咲いた。

お子さんに恵まれず、証券会社勤務だったご主人に早く先立たれた先生は、俳句づくりが何よりの趣味。俳号は落紅。かつては自らの句集も出版され、今でも仲間たちとの句会には毎回出席されていると、同窓会に出席した同級生が報告、みんなをいっそう安心させてくれた。この同級生は先生の後を追って同じ句会に入っているのだ。

**急**な欠席へのお詫びの気持ちもあられたのだろう、先生は右端に1句を刷り込んだ小さな卓上用の来年の月ごとのカレンダーを1冊づつ教え子たちに渡すように、幹事にあずけてくださった。その中の1句。

「ねこじゃらし 球に戯れゐる 若者ら」

先生の頭の中には37年間にわたって教えた子どもたちの顔や姿が、折にふれ、あれこれと蘇ってくるのだろう。

同窓会から数日がたってから、私はプレゼントのお礼も言いたくて先生に電話をかけた。「先生、お体、大丈夫ですか?」「私? 大丈夫よっ。でも、来年4月でなんと93歳よ。でもね、教え子の皆さんのお陰で、元気っ」「先生、私も2月で75歳。でもボケ防止のためにも、と『小さな親切』運動本部の代表を昨年5月末からお引き受けをしております」「そう、それは良かったねえ。つねおクン、しっかりやんなさいよ。先生、先生、いつまでもお元気で!!